

ディボーション質問表

(日) 先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

(月) コリント人への手紙第一 15：29～44

1. バプテスマとはどのようなものですか？

(火) コリント人への手紙第一 15：45～58

1. 神は、主イエス・キリストによって私たちに勝利を与えてくれました（57節）。何に対して勝利をくれたのでしょうか？ 自分の言葉であらわしてみてください。
2. 私たちの最後はどのようなものですか？ 私たちの最後がそのようであれば、日々の生活はどうなるのでしょうか（52～58節）？

(水) コリント人への手紙第一 16：1～12

1. 献金はどれくらいの頻度ですのでしょうか？ その献金は何のために使われていましたか（1～3節）？ ※日本語訳では献金と訳されていますが、「援助できるものを収集すること」を促しているのであって、捧げものをお金に限定していませんでした。
2. パウロはどのように宣教と宣教旅行のプランを立てていますか（4～12節）？

(木) コリント人への手紙第一 16：13～24

1. パウロは、神の家族の間で保つ雰囲気、志を語っています。それを汲み取り、生活に適應しましょう。

(金) コリント人への手紙第二 1：1～24

コリント人への手紙第二のテーマは、「弱い器を通してなされる力強いミニストリー」です。この数週間は、私たちの弱さを用いて神さまが力強く働かれることを学びましょう。

1. なぜ神さまは苦難が起こることを許されているのでしょうか？ 神さまはどんなお方ですか（3～7節）？ どんな苦難があり、どのような目的があるのでしょうか（8～11節）？
2. 裏表のない神さまを知るパウロとコリント教会の関係はどのようなものでしたか（15～24節）？ 私たちもコミュニティの中でどうあるべきでしょうか（18節）？

(土) コリント人への手紙第二 2：1～17

1. 叱責と赦しのバランスを見てみましょう。
 - a) 叱る際に何に重心を保つ必要がありますか？ なぜですか（1～9節）？
 - b) だれかが深い悲しみにいるとき、教会に何が起こりますか（5節）？
 - c) 私たちが、だれかを許すのを拒否するとき、何が起こりますか？ 自分自身の言葉で結果を見つけましょう。
2. 福音の宣教で保証された勝利
 - a) 神は福音の伝道に関してどんな保証を私たちに与えましたか（12～14節）？
 - b) 宣教の際、2つグループがいつもありますがそれはどのようなグループですか（15～16節）？ 宣教へと導く私たちの動機は何でしょう（17節）？